



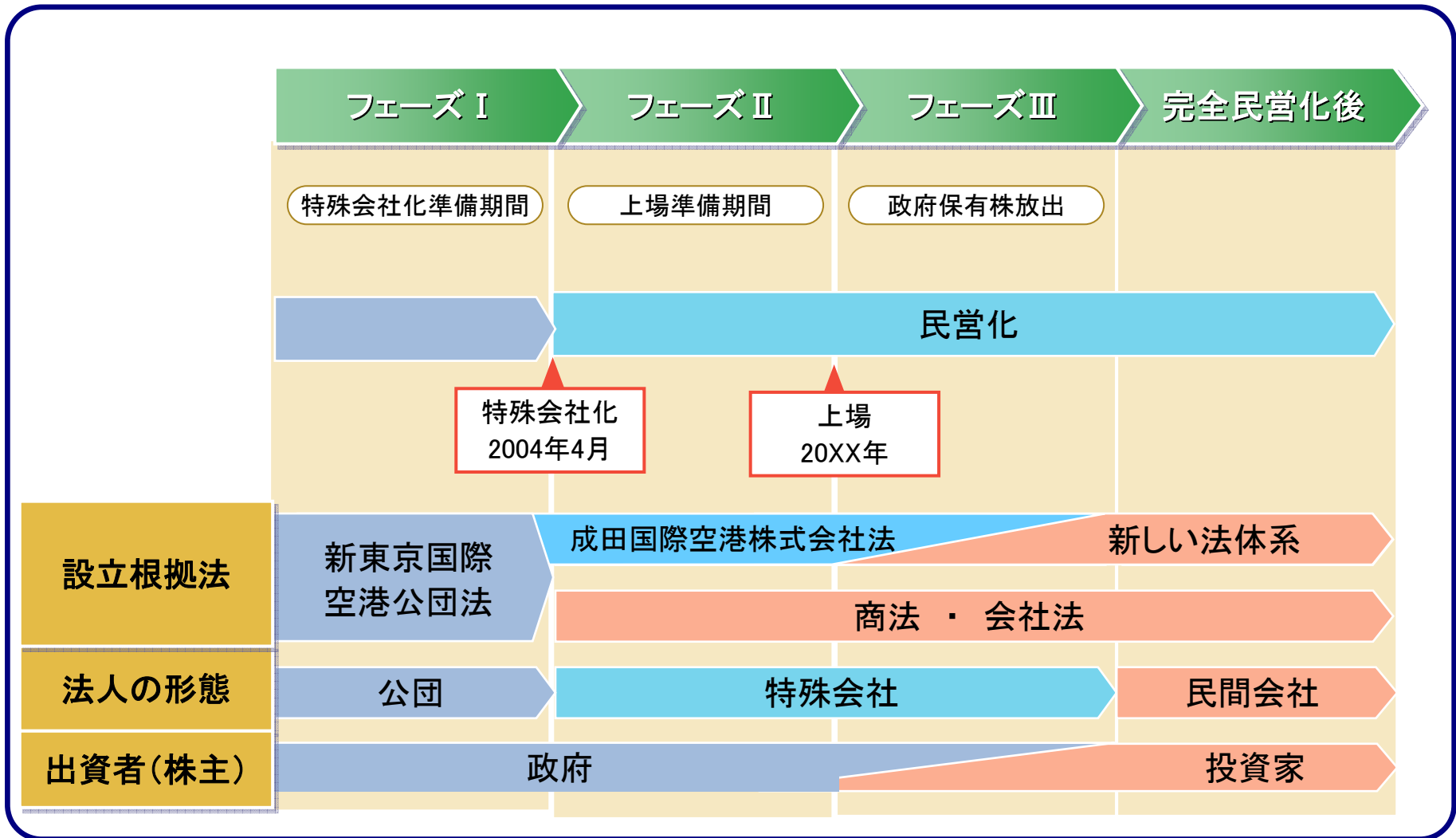
# 成田国際空港株式会社の完全民営化に向けて



成田国際空港株式会社

2006年11月21日

# ● ● ● | 完全民営化までのステップ(想定)



# ● ● ● | 事業基盤の整備

◆ 着陸料の引き下げ ……2005年10月実施



◆ 成田新高速鉄道の開設 ……2006年2月着工  
2010年4月完成予定



◆ 第一旅客ターミナルの拡張・改修 ……2006年6月完成



◆ 平行滑走路の延伸 ……2006年9月着工  
2010年3月供用開始予定



◆ 第二旅客ターミナルの拡張・改修 ……2005年3月着工  
2008年7月完成予定



※写真はイメージ



# 営業基盤の強化

## 増収策の推進

### 新規事業への進出

- 直営店舗リテール会社の設立
- 両替業への進出

### 未利用空間の活用

- ペットホテルの誘致
- 屋内外広告物の拡充

## コストの削減

### 工事等契約方式の変更

- 2004年度より価格交渉方式による契約方式を導入

### 外注価格の引き下げ

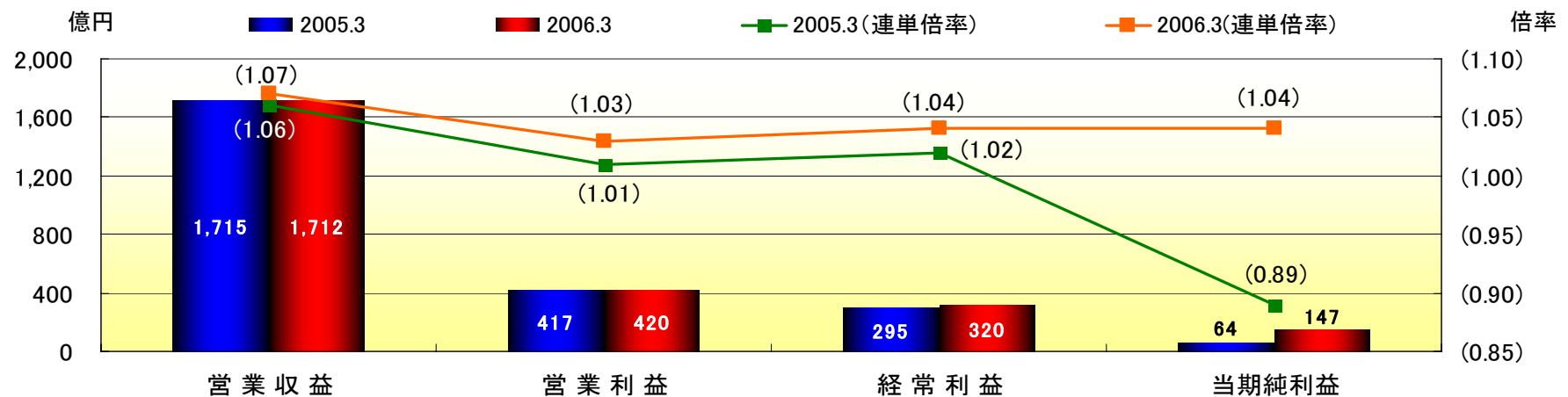
- 市場価格による契約制限価格の設定
- 業務委託費の削減

## CS活動の強化

# 収益状況

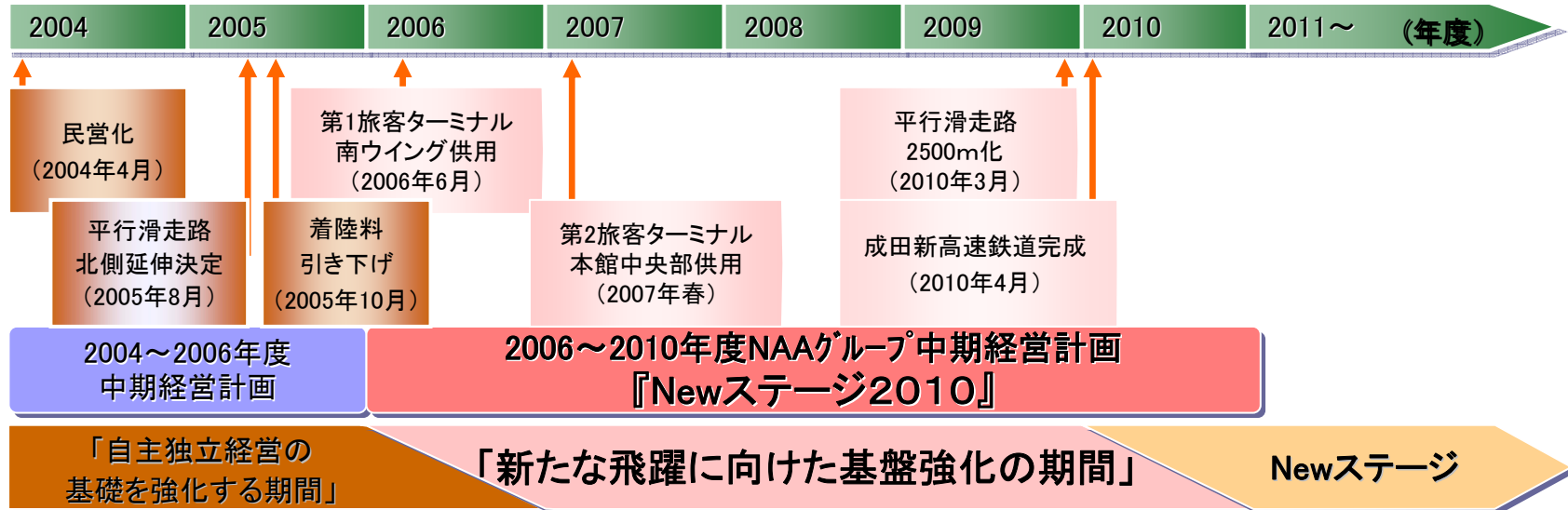
単位：億円(単位未満切捨て)

区 分	2005. 3[A] ( ) 内連単倍率	2006. 3[B] ( ) 内連単倍率	前 期 比	
			増減[B-A]	% [B/A]
営業収益	1,715 (1.06)	1,712 (1.07)	▲ 3	99.8%
営業利益	417 (1.01)	420 (1.03)	2	100.5%
経常利益	295 (1.02)	320 (1.04)	25	108.6%
当期純利益	64 (0.89)	147 (1.04)	83	230.1%



# ● ● ● | 中期経営計画①

## 経営方針の明確化



## 投資額の上限設定

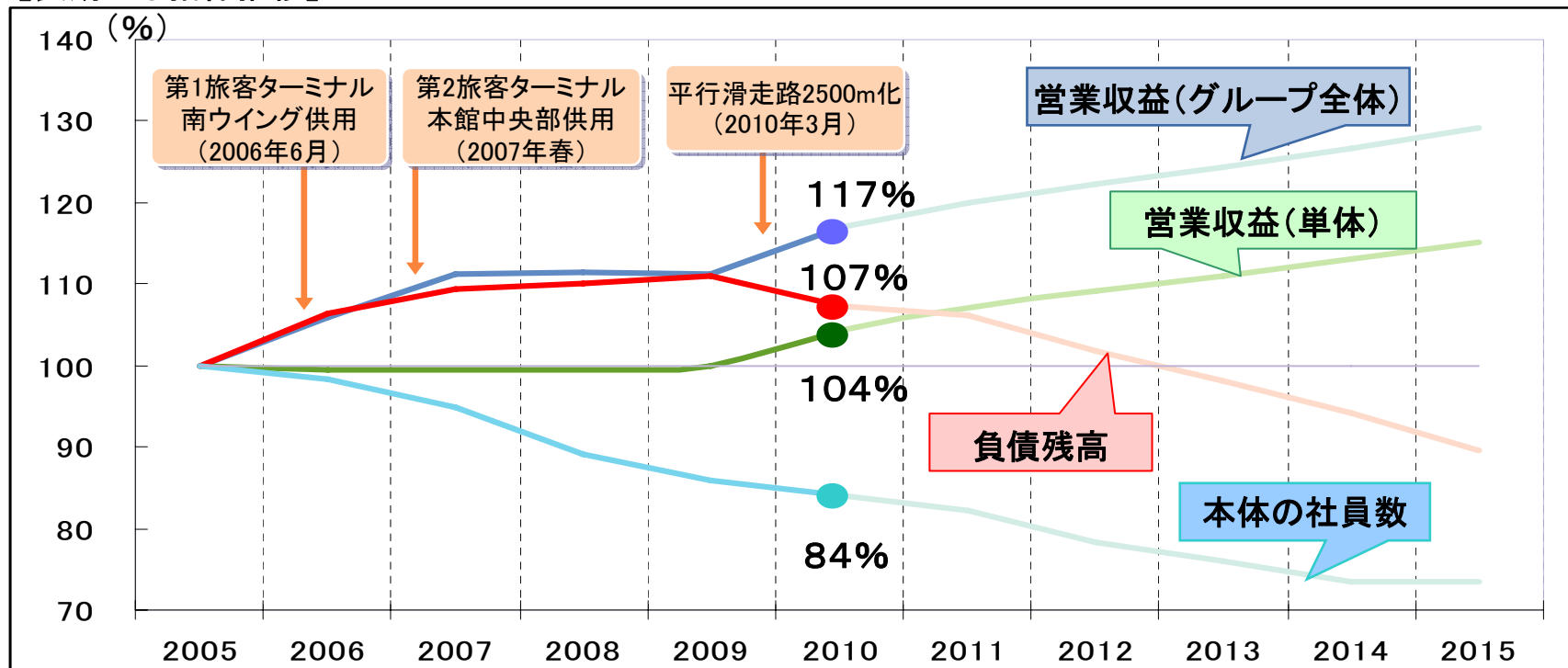
■能力増強等空港基本機能の充実に係る投資 (平行滑走路2500m化、誘導路整備、スポット整備など)	1,200億円
■安全性の向上、空港保安の徹底に係る投資 (カテゴリーⅢb化、インラインスクリーニング整備など)	920億円
■航空旅客等に対するサービス向上に係る投資 (成田新高速鉄道整備、A380アッパーデッキ対応搭乗橋整備、第2旅客ターミナルビルリフレッシュなど)	580億円
合 計	2,700億円

# ● ● ● | 中期経営計画②

## 経営目標 (2010年度目標)

グループ営業収益	単体営業利益	単体フリーキャッシュフロー	単体自己資本比率
2,000億円以上	380億円以上	250億円以上	22%以上

【長期的な指標推移】



※2005年度見込み=100%とする  
 ※負債残高:有利子負債+無利子負債

# ● ● ● | NAAの上場に向けて

## 1. 上場に向けた社内体制整備の状況

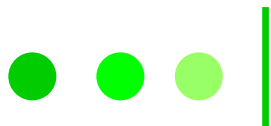
コーポレートガバナンス体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営と監査、執行の役割分担の明確化(監査役会方式導入)</li> </ul>
NAAグループとしての経営管理体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業セグメント及び事業部制の導入</li> <li>・グループ連結月次決算等に向けた体制の整備</li> </ul>
NAAグループとしての内部統制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部監査等コンプライアンス及びリスクマネジメント体制の整備</li> <li>・J-SOX(金融商品取引法)対応業務プロセスの整備</li> </ul>

## 2. 上場に際して整理しておくべき課題

公共性担保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NAA事業の公共性の確保 (事業規制)</li> <li>・事業を行う企業(NAA)自体の確保 (資本規制、敵対的M&amp;A対策等)</li> <li>・上場後も現在の環境対策・地域共生策を適切に継続できる仕組みの構築</li> </ul>
機能分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏空港の役割分担の明確な方針設定</li> </ul>
容量拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の増大する首都圏航空需要への成田空港の対応方針の明確化</li> </ul>

要望 …上記の課題を解決して頂くこと



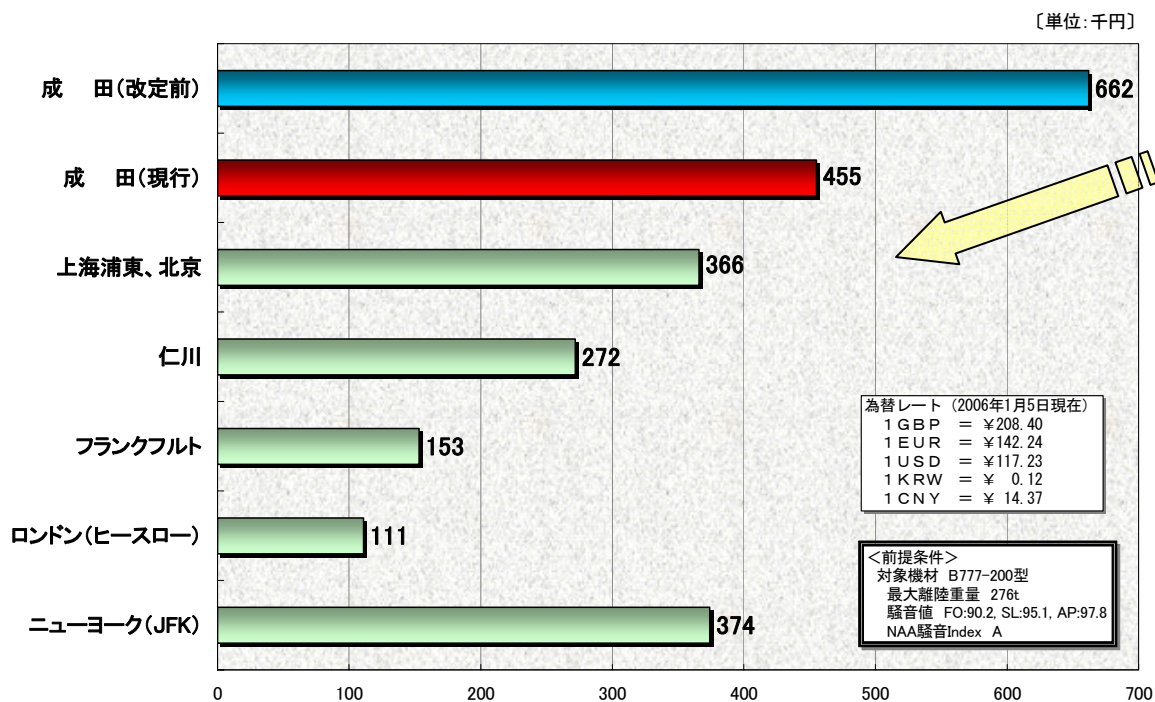


# 参考資料

# ● ● ● | 着陸料引下げ

## 「高い」の克服

- 民営化の成果としての利用者還元、東アジアにおける国際競争力の強化のため、2005年10月より引下げ実施



最も低騒音の機材で31%減  
(平均21%減)

### 【国際線着陸料の引下げ】

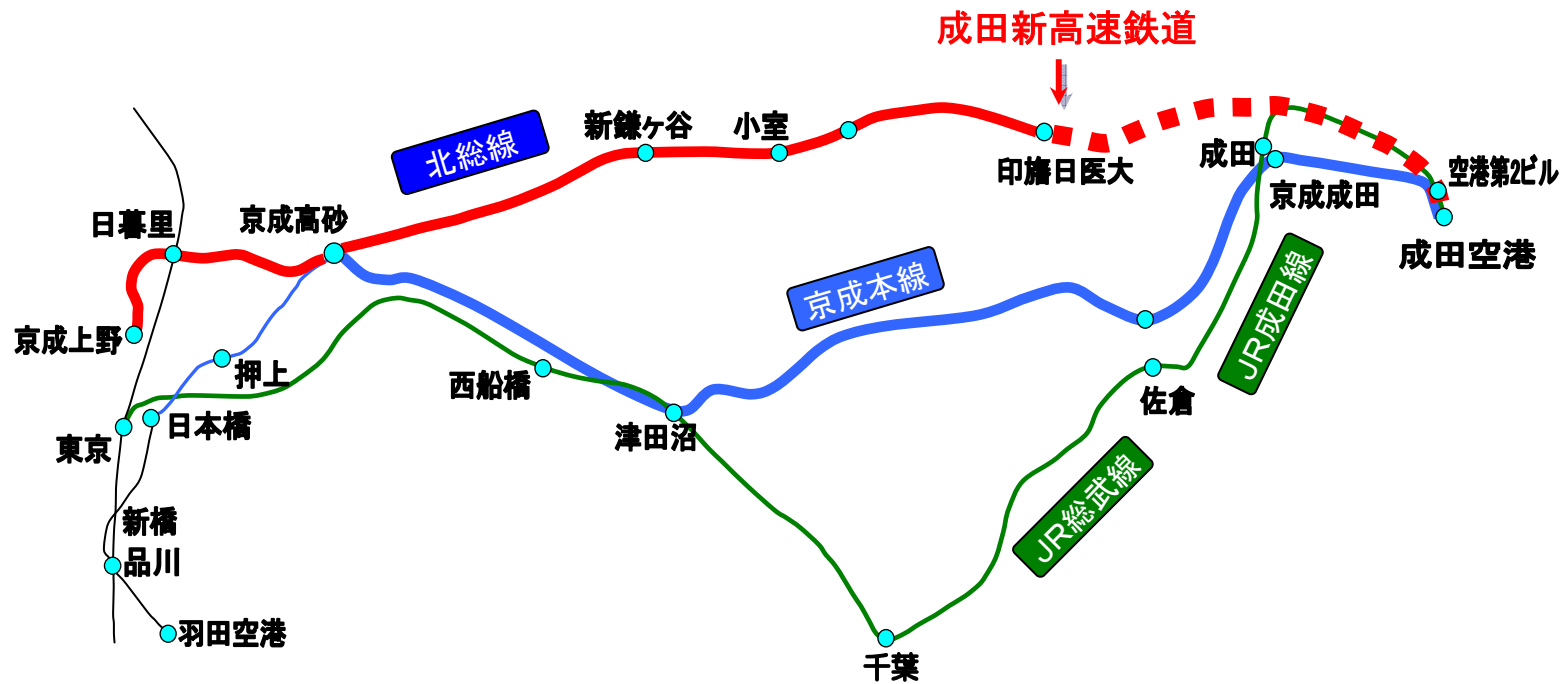
国際線着陸料は、航空機の騒音レベルに応じて設定した6段階の料率に最大離陸重量を乗じて算出した額(ただし、その額が50,000円に満たない場合は50,000円)。

- 参考1 引下げ後の料率平均値: 1,891円/トン(▲21%)
- 参考2 B777-200の着陸料: 455,400円(▲31%)
- 参考3 B747-400の着陸料: 730,750円(▲23%)

# 成田新高速鉄道

## 「遠い」の克服

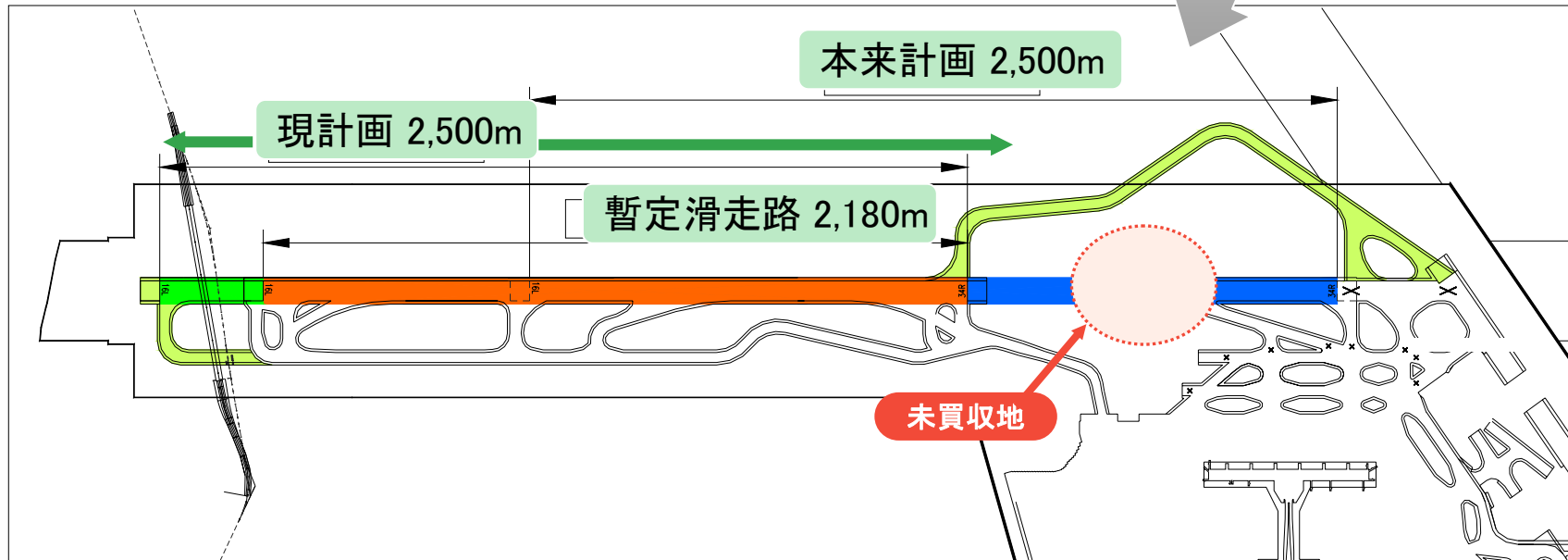
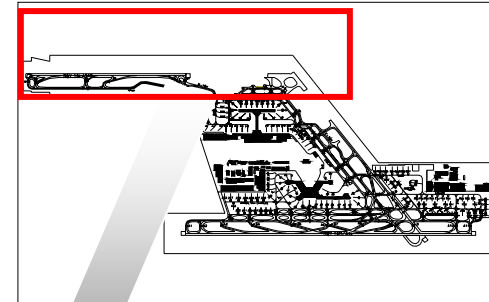
- 総事業費：1,500億円(うちNAA:600億円)
- 完成予定：2010年4月
- 日暮里～空港間：最短36分
- 京成電鉄が新型(高速)スカイライナーを運行(上下分離方式)



# ● ● ● | 平行滑走路の延伸

## 「狭い」の克服

- 北側延伸による平行滑走路2500m化の決定(2005年8月)
- 供用開始予定：2010年3月
- 供用後は、A滑走路(13.5万回)を含め22万回の発着が可能



# 第1旅客ターミナル改修及び航空会社の再配置

- 2006年6月、第1旅客ターミナル南ウイング供用、延床面積は約1.5倍に拡大
- 航空会社をアライアンス毎に再配置することにより、お客様及び航空会社の利便性が格段に向上
  - 第2旅客ターミナルビル内の混雑解消
  - アライアンス航空会社間のコードシェア便が同一ターミナルビル内で運航可能に

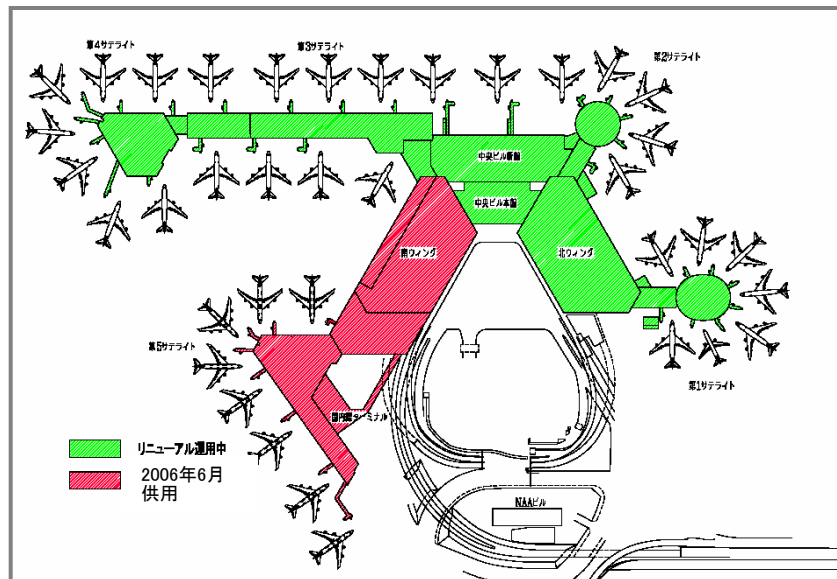
## 第1旅客ターミナルビル改修計画

	改修前	改修後
延床面積	298,000㎡	449,600㎡
固定スポット数	23	37
旅客処理能力/年	1,300~1,400万人	3,000万人

## 航空会社再配置計画

便数比率(第1旅客ターミナルビル:第2旅客ターミナルビル)

再配置前	再配置後
34 : 66	53 : 47



### 第1旅客ターミナル 北ウイング

#### スカイチーム

ノースウエスト,コンチネンタル,  
エールフランス,大韓航空,etc

### 第1旅客ターミナル 南ウイング

#### スターアライアンス

ANA,ユナイテッド,アジアナ,  
シンガポール,タイ,etc

### 第2旅客ターミナルビル

#### ワンワールド

JAL(今後加盟予定),アメリカン,  
カンタス,キャセイパシフィック,  
etc

#### その他

中国国際航空,チャイナエアライン,  
etc

# ● ● ● | 成田空港のCS活動

- 成田空港全体のCS向上を図るために、空港内関連企業等と協力し「成田空港CS協議会」を設置、各種取組みを実施。

## 空港スタッフ表彰制度



**CS Award** ……素晴らしいサービスをしたスタッフを称える表彰制度

CS Award 年間グランプリ  
年1回2名に贈られるグランプリ

Seasonal CS Award  
年4回20名に贈られる季節賞

## CS意識向上ビデオ



## CSセミナー



## CS意見交換会 CS活動報告会



## CSフレンズ

